

町田市議会議員・良識ある保守主義を目指す

吉田つとむ

納税者主権の政治・リニア新幹線



町田市議会

〒194-8520

東京都町田市

森野 2-2-22

☎042-724-2171

2期連続トップ当選

高齢者のみのゴミ袋無料配布の措置が改善される

かねてから、私が主張していたところの一つで、ごみ袋が他の世代は有料配布されているのに、高齢者には無料配布される制度の見直しが、本年度より段階的に実施されることになりました。昨年度の市議会決算委員会の指摘と表決でその見直しを求めたことが決め手で、行政の方針が変わったものです。

まず、高齢者（70 歳）以上の人人がいる所帯では、昨年度までその人数が複数の場合は全員分が無料で配布されていましたが、本年度（平成 28 年度）より一所帯につき 1 人分の配布になりました。しかも、本人が住民税非課税であることが必要条件になります。＊ 2 年間の緩和措置であり、2018 年度からは所帯全体が非課税所帯であることがその受領対象になります。



横浜線以南は、廃プラを分別回収開始

その結果、本年度だけでも、現行ルールで約 6,726 万円の支出規模であったものが、約 3,516 万円に支出規模が縮小され、約 3,110 万円が節減されることになりました。

町田市における、世代間の不公平施策が一点改善されることになりました。

交通審と多摩都市モノレール延伸

このたびの交通政策審議会陸上交通分科会鉄道部会の答申案において、東京圏では羽田へのアクセスに重点が置かれています。

多摩地区で注目すべき、多摩都市モノレールは 3 ルートが記述されていますが、町田方面延伸は「中」の扱いでした。北部へのルートである上北台一箱根ヶ崎間の延伸が優先的に記述されており、これまで鉄道路線が無かった分、路線道路ルートの確保が進んでいる点が評価されています。

私たちの関心事である、多摩センター～町田延伸ルートは、その必要性は認識されていますが、ルート確保の不十分性が指摘されており、その具現化は町田市に課せられることになります。本来は都市交通の基盤は、区部においては東京都が担っていますが、多摩地域までその方針を適用される発想がこれまでの多摩地域の政治家にはありませんでした。今さら、その要求を強めたとして、優先順位が東京都主導で進められるとは思えません。町田市は多摩都市モノレール町田方面延伸の交通ルート開通に事業費を充てる覚悟が問われることになります。



各地のモノレールも見学する

★ 無所属で活動・市議会は保守連合

吉田つとむ発見動画チャンネル

URL <http://j-expert.jp/> ユーチューブ <http://jp.youtube.com/yoshidaben>

編集 〒194-0011 町田市成瀬が丘 1-14-12 サンホワイト E 103-13 吉田つとむ (市議会議員)

吉田つとむ

セミナー主催・インターンシップ主宰

研修レポート①藤澤美彩子

4月 17 日(日)から吉田つとむ議員のインターンシップに参加しました。

11月 26 日(土)に行われる吉田つとむ議員主催クトロヴァツツコンサート町田公演が町田市民ホールにて行われます。そのコンサートの打ち合わせに参加したことがとても印象的です。内容としてはコンサートガイド広告の修正で市民ホールのスタッフ担当の方と一緒に、日本で 150 回もの公演を行われているクトロヴァツツ兄弟のコンサートの魅力を買い手の方々に感じてもらい足を運んでいただけるかどうかということを考え、今回の打ち合わせを進めていきました。



そこで特に感じたことは売り手と買い手の目線の違いです。買い手の立場になることは数知れずありますが、売り手の立場に立つという機会は今までの経験からも非常に少ないので勉強になりました。売り手の立場は広告ひとつをとっても配色や写真の配置、文字のバランス、文字の大小、広告のサイズ間などに顕著であり、多くの点が考えられた上で掲載されているのだということを知りました。



楽しい社会体験プログラム

携帯QRコード
でブログ閲覧

いつもなら何気なく見ている広告ですが、今回を機に広告を見る際の視点が大きく変わりそうです。また次の打合せにも参加させていただく予定なので、今回のこと踏まえた上で最良の方法を考えながら、また新たな発見があるかと思うととても楽しみです。

恵泉女学園大学 3 年生 藤澤美彩子(第 38 期)

被災地救援に対する市長の差

4月 14 日(金)に発生した熊本・大分連続地震被災地支援の対応の相違(遅延の町田市と、即断の自治体の差)を感じました。

被災地支援募金に関するのですが、町田市は代表電話で尋ねると、「日本赤十字に尋ねて」と言う返事に驚きました。「それでは、町田市は募金受付をやらないのか」と重ねて尋ねると、担当部署につながり、月曜から市庁舎内に募金箱を設置するとの返答がありました。さらに、「市民団体で募金を集めた場合はどうするのか」と再度尋ねると、再回答で、「福祉総務課で受領する、必要な場合は領収書も発行する」とのことでした。即応する自治体は震災発生の次の月曜日にはそうした受け付け体制を完備・広報していました。

また、救援部隊の出動でもすでに日曜日には現地に到達した自治体がある一方、町田市は東日本大震災に続いて、東京都の指示待ちの待機態勢を取りました。今回も、都内で最も出遅れの自治体と誰からも見なされるでしょう。阪神大震災の被災地応援では、町田市は自前の判断で一早く出動し、現地で活躍(市民病院・ごみ収集など)する姿を現地で直接確認しました。市長の差と言えるでしょう。

* (私は、中越地震、東日本大震災でも、何度も現地に入る経験を持つ)

★吉田つとむの連絡先 TEL 042-795-7361 FAX 042-795-2726

◇ どうぞ、町田市政や議会に関するご要望や、ご意見をお気軽にお寄せ下さい。

Mail : yoshidaben@gmail.com mobile: yoshidaben@docomo.ne.jp (モバイルのみ接続)